

製品名: CD1A マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82590**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	37kDa

抗原情報

遺伝子名	CD1A
別名	R4; T6; CD1; FCB6; HTA1
遺伝子 ID	909.0
SwissProt ID	P06126
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD1A (AA: 17-116) の精製された組み換え断片。

背景

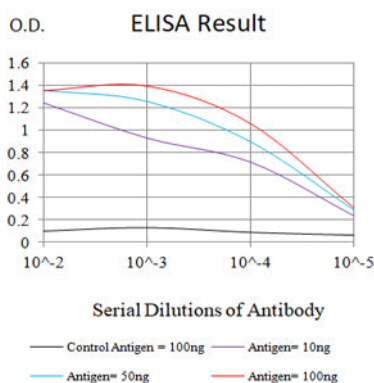
この遺伝子は、膜貫通型糖タンパク質 CD1 ファミリーのメンバーをコードします。CD1 ファミリーは、主要組織適合遺伝子複合体 (MHC) タンパク質と構造的に関連し、 $\beta 2$ ミクログロブリンとヘテロ二量体を形成します。CD1 タンパク質は、主に自己または微

生物由来の脂質抗原および糖脂質抗原を T細胞に提示する役割を果たします。ヒトゲノムには、1 番染色体上にクラスター状に配列した 5 つの CD1 ファミリー遺伝子が含まれています。CD1 ファミリーのメンバーは、細胞内局在および特定の脂質リガンドに対する特異性が異なると考えられています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞膜および初期エンドサイトーシス系のリサイクリング小胞に局在します。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2016 年 3 月]

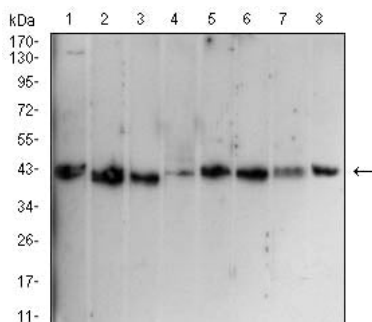
研究分野

-

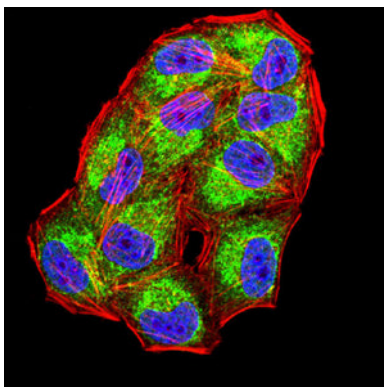
画像データ



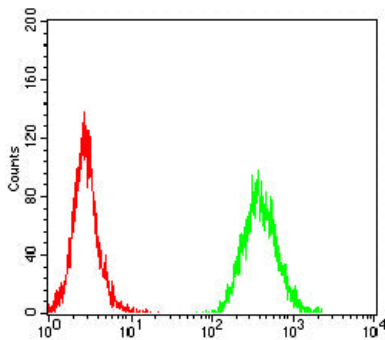
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



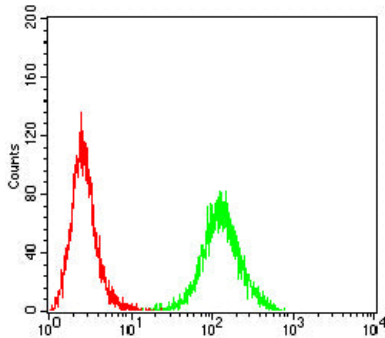
Hela (1) 、 HepG2 (2) 、 HEK293 (3) 、 MOLT4 (4) 、 K562 (5) 、 HEK293-6e (6) 、 Cos-7 (7) 、 および NIH/3T3 (8) 細胞溶解物に対する CD1A マウス mAb を使用したウエスタンブロット解析。



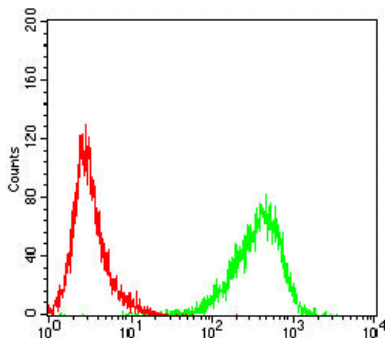
CD1A マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



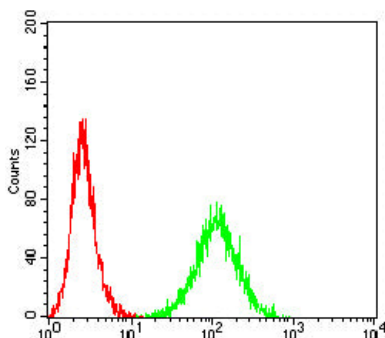
CD1A マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した MOLT4 細胞のフローサイトメトリー分析。



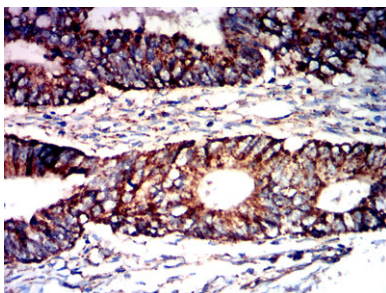
CD1A マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HL-60 細胞のフローサイトメトリー分析。



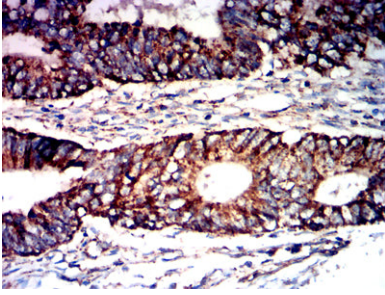
CD1A マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jukrat 細胞のフローサイトメトリー分析。



CD1A マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による CD1A マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による CD1A マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。